

令和3年度 事業所における児童発達支援
自己評価結果(公表)

公表： 令和4年3月31日

事業所名 多機能型児童発達支援事業所 森の子

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10		未就学児と就学児の利用時間に応じて、部屋や空間を上手く分けて活動を行っている。 部屋によって活動する場と食事をする場を分けて対応し、場面の切り替えができるよう工夫している。	コロナ禍でもある為、今後も子ども達が安全に活動できるような環境設定の工夫を行っていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	10		専門性を活かしながら、利用される児童、場面や状況に応じて職員の配置を行っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10		出入り口や室内を移動する際に段差もなく、安全に過ごせるようになっている。 絵カードやネームプレート等を使用し、視覚から情報が入りやすいよう工夫している。	利用される児童に合わせて、フローリング部分と部分的にジョイントマットを敷き、安全に配慮した空間作りを心掛けている。今後も利用される児童に合わせて環境設定を行っていく必要がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10		子ども達が心地よく過ごせるよう毎日の清掃の実施。新型コロナウイルス感染予防の為、手すり、ドアノブ、椅子等のアルコール消毒、空間除菌スプレーの散布、こまめな換気を行っている。 活動に合わせて部屋を移動し、子ども達の気持ちの切り替えや密にならない取り組みを行っている。	今後も子ども達が快適に過ごせるよう隔々の清掃の実施。新型コロナウイルス感染予防の消毒の徹底と、子ども達が安全に楽しく活動できる空間作りに努めていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10		毎日の朝礼や定期的な会議の中で、職員全員で話し合い、業務改善に繋がるよう実施している。	会議中決定した内容が上手く実施できていない事もある為、その都度修正していく必要がある。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10		毎年アンケートを実施し、ご家族、子ども達の意見を把握した上で業務改善に繋がっているが、不十分な点も多いように思われる。	今後もご家族、子ども達の意見を職員全員で把握し、子ども達の支援、業務改善に繋げていく。又、日頃からご家族とコミュニケーションを図り、ご家族の思いに寄り添い、思いを引き出せるよう努めていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			年に一回自己評価の実施とホームページによる公表を行っている。今後も行っていく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	5	コロナ禍の間は難しいように思われるが、日頃から外部の方を受け入れる体制はできており、意見等に対して前向きに改善する姿勢である。	今後も意見等に対して前向きに改善するよう努めていく。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	2	毎年研修には積極的に参加しているが、前年度と同様で新型コロナウイルスの為参加は少なかった。オンライン研修での参加は行った。	今後も色々な形で職員が学ぶ機会を増やし、資質の向上を目指すと共に子ども達の支援に活かせるよう努めていく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10		アセスメント内容に変更があった際はその都度見直しを行っている。又、ニーズや課題を分析し、個別支援計画書の作成を行っている。	定期的にご家族と面談を行い、課題を把握し、個別支援計画書の作成に努めていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10		平成30年度より、児童発達支援ガイドラインの項目を新たに追加し、計画書の作成を行っている。	今後も児童発達支援ガイドライン、ご家族の意向に沿った計画書の作成に努めていく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10		チームで話し合い、支援計画に沿った支援が適切に行えるよう努めている。	今後も本人、ご家族の意向に沿った児童発達支援計画書の作成に努めていく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		季節や年齢によって立案したり、職員同士で話し合い情報共有を行いチームで取り組んでいる。	毎日の朝礼の際、子ども達の活動の振り返りを行い、その都度課題について検討していく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10		前年度同様、コロナ禍で外出等の行事が行えなかった為、普段の活動に加えくじ引き大会やいいちご狩り等室内で子ども達が楽しめる活動を取り入れ、子ども達も喜ばれていた。	今後も状況に応じて行事の代替えや子ども達が楽しめる活動の工夫を行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成するよう行っている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10		朝礼の際、子ども達の状態やその日の活動についての情報共有、送迎等の役割分担についての確認を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7	3	送迎等により支援終了後、職員全員で話す時間は取れないが、気づいた点や支援の振り返りはその都度話し合い共有し、改善に繋げている。	今後も支援の振り返りや気づいた点については、その都度職員間で情報共有し、子ども達の支援、業務改善に努めていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10		児童発達支援計画書に基づき、一人ひとりの支援に関する記録を細かく記載するようにしている。	毎日支援記録は細かく記載するよう努めているが、支援の検証・改善にまで繋がっていない為、今後行っていく。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10		定期的にモニタリングを行い計画の見直しが必要な時は変更をかける。		

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画している。会議前には、対象児に関わる保育士、PT、看護師、児童指導員と情報共有を行っている。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	1		
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10		地域の関係機関と連携しながら子ども達の支援を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10		連絡先等については、誰が見ても分かりやすいようまとめており、緊急時に連絡できる体制を整えている。又、必要に応じて、病院の通院に引率させていただき、支援に繋がっている。	子どもの状況に変化がみられる際は、主治医等と連携を図りながら支援を行っていく。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10		保育所に通っている児童に関しては、見学に行かせていただいたり、日頃の様子について情報共有を図っているが、コロナ禍で今年は見学していない。	今後も保育所等の見学、関係機関と連携を図りながら、子ども達の支援に繋げていく。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10		就学前に特別支援学校の先生方に事業所での様子を見て頂き情報の共有を行っている。	就学後も学校の先生、関係機関と情報の共有を行いながら、子ども達の支援に繋げていく。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3	法人内に児童発達支援センターがあり、OT等から助言を受け支援に繋がっている。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	8	前年度と同様、コロナ禍の為に交流は控えているが、以前は市立図書館開催のお話会に参加する等障がいのない子どもと関わる機会を作っていた。	保育所、認定こども園、幼稚園との交流等は行っていない為、今後検討していく。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	8	管理者が自立支援協議会の部会委員として参画している。	職員が参画する機会を検討していく。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10		送迎時や連絡ノートに記入し、ご家族と日頃の状況や支援について話し、共通理解を持っている。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	6	ペアレント・トレーニングという具体的なプログラムの提供はできていないが、その都度子どもの状況について情報共有し、相談しやすい関係作りに努め、家族支援を心掛けている。	
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10		利用契約時に説明を行っている。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10		児童発達支援ガイドライン、ご家族の意向に沿った児童発達支援計画の作成に努め、作成後は説明を行い同意を得ている。	ご家族に同意は得ているが、説明が不十分な点もある為、今後も改善を図る。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10		常に保護者の方と話をし、顔の表情、行動等気にかけるよう行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	8		保護者会等の開催は行っていないが、コロナ禍が落ち着いたら行事を実施し、その際に保護者同士の交流の場を設けていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10		利用日の変更等は、ご家族の希望に沿い、迅速かつ適切に対応ができるようにはしている。	相談や申し入れがあった際は、できる限りご家族の希望に添えるよう対応しているが、難しい場合もある為、今後体制の整備を行っていく必要がある。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2	連絡ノートに日々の活動内容や行事のお知らせ等を記載し発信している。又、必要に応じて書面にてお知らせを配布している。	今後はアプリの導入を検討している為、定期的に事業所内の様子等を発信していきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10		個人情報がかった書類は、鍵のついた書庫へ保管し、不要になった書類はシュレッターにかけるを徹底している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	2	前年度同様、コロナ禍で実施できなかったが、法人全体で年に一回秋祭りを開催している。	事業所という単位では行えていない為、今後検討する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10		子ども一人ひとりの連絡先の一覧表を作り、すぐに対応できるようにしている。	マニュアルの策定は行っているが、保護者の方への説明に不十分なところがある為、今後検討していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10		定期的に訓練を実施し、その際にはご家族に連絡ノート等でお知らせしている。	定期的に訓練を実施しているが、今後ご家族への周知に努めていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10		事前にアセスメントを行い、てんかん発作等においては主治医の指示書を提出して頂くと共に、服薬のお預かり、適切な対応を行っている。又、情報を職員全員で把握し、緊急時の対応においては定期的にレクチャーを行い、全体で対応できるようにしている。	子どもの成長によって状況や対応の変化が考えられる為、今後もご家族、主治医と連携を図りながら対応していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10		利用前にアレルギーの有無は必ず確認している。医師の指示書を基に厨房にてアレルギー対応食の提供を行っている。	医師の指示書と共にエビペンの使用方法についても対応できるよう努めている。今後もご家族と情報共有を行うと共に、厨房、森の子職員で協力し、安全な給食の提供に努めていく。

④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	2	ヒヤリハット事例集として作成は行っていないが、職員間で事例をもとに共有し、記入と周知に務めている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10		外部研修への参加と、年に一回法人内研修を行っている。	今後も研修の機会を増やし、職員一人ひとりが意識して取り組めるよう努めていく。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10		やむを得ず身体拘束を行う事がない為、記載していない。	日常的に使用する車椅子、座位保持、カーシート等のベルトやベッド柵に関しては、安全の為しようする事をご家族に説明、ご理解のもと、児童発達支援計画書の記載に努めていく。

○ この「事業所における自己評価表結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

